

◆人口	132,471人	(-132人)
うち外国人	932人	(+106人)
男	65,093人	(-121人)
女	67,378人	(-11人)
◆世帯	58,358世帯	(+700世帯)
12月1日現在 ( )内は対前年同月比		

## 竹宵ライトアップ&新春イベント

**場所** 手賀沼親水広場第2駐車場横  
**竹宵ライトアップ**  
**日時** 12月23日(祝)～平成30年1月8日(祝)午後5時～翌朝5時※雨天実施  
**点灯式** 12月23日(祝)午後4時30分～5時  
 ※我孫子高等学校吹奏楽部による演奏あり(演奏は雨天中止)



**新春イベント**  
**日時** 平成30年1月1日(祝)午前6時～※雨天中止  
**内容** ◎新春獅子舞と和太鼓の競演など ◎おしるこの配布(お箸・お椀または100円持参)※無くなり次第終了 ◎市内飲食店の出店あり  
**問** 我孫子ライオンズクラブ・栗原☎090-3225-4999

## アビシルベ 新春ふるまい

**日にち** 平成30年1月1日(祝)  
**内容** ◎獅子舞、甘酒ふるまい(午前10時30分～)※無くなり次第終了 ◎うなぎちゃんのおやつプレゼント(11時～)※先着100人  
**場所・問** アビシルベ☎7100-0014



## 楽鳥凧教室

**日時** 平成30年1月8日(祝)午後1時30分～3時30分  
**内容** 鳥凧同好会オリジナルのポリ袋を使った鳥凧を作ります。  
**講師** 鳥の博物館友の会 鳥凧同好会  
**対象・定員** 小学生以上、先着15人(1家族1人、小学2年生以下は保護者同伴)  
**費用** 無料(要入館料)  
**入館料** 300円(高校・大学生200円、中学生以下・70歳以上無料)  
**場所・問・問** 鳥の博物館☎7185-2212



▲ポリ鳥凧Ⅲ号

## 楽特別企画展「バーナード・リーチ展」を開催中!

我孫子を愛し、手賀沼を愛した英国人陶芸家バーナード・リーチと白樺派の人々に触れて、我孫子の魅力を再発見してみませんか?  
**日時** 2月4日(日)まで午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)※月曜休館(祝日の場合は翌平日)  
**入館料** 300円(高校・大学生200円、中学生以下無料)  
 ※バーナード・リーチ展記念限定チケット販売あり  
**場所・問** 白樺文学館☎7185-2192



**鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館で使える お得な3館共通券を販売中!**  
**価格** 600円(高校・大学生400円)  
**有効期間** 購入日から1カ月(休館日の場合は前日まで)



## 楽子どものための舞台鑑賞「子どものためのパペットシアター モモ」

**日時** 平成30年2月3日(土)午後2時～(1時30分開場)  
**場所** けやきプラザホール  
**内容** ミハエルエンデの児童文学「Momo」を原作に、時間どろぼうとモモの攻防を軸に「時間とはなに?」「心とはなに?」をモモと一緒に探り、唯一無二の自分自身の時間を手にいれる物語。3人で操るパペットと身体表現を組み合わせたフィジカル&パペットシアター。

**出演** NPO法人 種のアトリエ  
**定員** 550人(全席自由)  
**入場料** 1人1000円、ファミリー券(子どもを含む家族3人)2000円  
**入場券販売所** 軽喫茶ぼぼら、ミリオン楽器我孫子店、写真のおちあい、文化・スポーツ課  
**問** 教育委員会文化・スポーツ課☎7185-1601



**クイズ あびこの自然と文化 44**  
 ～白樺文学館～  
 現在開催中のバーナード・リーチ展。注目作品であるエッチング(銅版画)「手賀沼」。来日当初のリーチは、エッチング教室をある場所に開き、白樺派と交流しました。そのある場所とはどこでしょうか(答えは展示を見ればわかるはず)?  
 ①我孫子 ②新宿  
 ③鎌倉 ④上野  
 ▲エッチング「手賀沼」(リーチレッドグレイウ版)  
 正解者の中から抽選で、鳥の博物館・白樺文学館・杉村楚人冠記念館に入館できる3館共通券をペアで5組の方にプレゼントします。  
**問・問** はがき・ファクス・Eメールにクイズの答え・住所・氏名・電話番号を明記し、12月26日(必着)で、〒270-1192市役所あびこの魅力発信室(住所省略可)☎7185-1520✉quiz@city.abiko.chiba.jp☎7185-2493※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。答えは1月16日号に掲載します。

**図書館員が選ぶ 5**  
 この一冊  
**『牛追いの冬』 岩波書店**  
 マリー・ハムズン作/石井桃子訳  
 ノルウェーの小農場に4人の兄妹が両親やたくさんの動物たちと暮らしている。10歳のオーラは本好きな少年、エイナルはやんちゃで商才があり、インゲリドは妹思い、末っ子マルタは頑固者だ。大自然に囲まれた一家の賑やかなクリスマス、弟たちの初めての学校、マルタの肺炎、オーラの初恋などが描かれる。  
 生命力溢れる子どもたちは時に大騒動を起こすが、周囲の大人は大らかに見守る。翻訳は『くまのプーさん』も訳した児童文学作家石井桃子さん。凛としつつも温もりある言葉が心に染み入る。夏山での生活を描く『小さい牛追い』もご一読を。

**消費生活センターだより 69**  
 今日から実践! 食品ロス削減  
 「食品ロス」とは、本来食べられるものが廃棄されることを言います。日本の食品ロスは、年間621万トンも発生しており、これは世界全体の食糧援助量(年間約320万トン)の約2倍の量です。これは、日本人一人当たり、毎日お茶碗1杯分の食べ物が捨てられている計算となります。  
 12月からは宴会や会食が増え、特に食べ残しが出やすい時期です。「食品ロス」となる食べ残しを減らすために、最初の30分間は出来たての料理をしっかりと食べ、そしてお開きの前の10分間は食べ残しがないよう幹事が声をかけるなど、料理を食べきる「30・10運動」にぜひご協力ください。  
 ご家庭では、買い物の前に冷蔵庫などの中をチェックし在庫を確認しましょう。食材を「買いすぎない」、「使い切る」、「食べきる」ことにご協力ください。  
**相談受付日時 問** 消費生活センター☎7185-0999  
 平日、第2・4土曜日 午前10時～午後5時30分  
 アビクオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)